

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘リハビリテーション病院および昭和大学スポーツ運動科学研究所では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

投球障害例の世代間における胸郭および肩甲骨上方回旋機能差の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

対象は2015年4月1日から2021年3月31日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科で投球肩肘障害と診断された患者さんおよび昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った健常男性アスリート

2. 研究目的・方法

投球障害予防には胸郭、肩甲骨上方回旋機能が必要とされるが、投球障害例の胸郭、肩甲骨上方回旋機能を調査した報告は少ないです。また世代が上がるにつれて機能低下が生じると考えられるが検討した報告は少ないです。目的は投球障害例の胸郭、肩甲骨上方回旋機能および世代間の機能差を後方視的に検討することです。

対象は2015年4月1日から2021年3月31日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科で投球障害肩肘と診断された患者さんおよび昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った健常男性アスリートの外来患者データを利用します。患者データは病院内の入院リハビリテーション室の電子カルテにて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「結果通知書の承認日」より、実施医療機関の長の研究実施許可を得てから2022年3月31日までです。

予定症例数

当院の予定症例数は62例（投球肩肘障害：42例、健常者20例）です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2015年4月1日から2021年3月31日までに昭和大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科で投球障害肩肘と診断された者、昭和大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行った健常男性アスリートの診療録の中から、患者背景（年齢、性別、身長、体重、既往歴、現病歴）およびX線撮影像か

ら検討可能な胸郭機能、肩甲骨上方回旋機能および上腕骨外転角度を調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者様もしくはその代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも研究対象者様に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学 藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーションセンター

氏名：阿蘇卓也

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号：045-974-2221(代表)

研究責任者：阿蘇卓也